

稲沢市観光協会ニュース

INAZAWA TOURISM ASSOCIATION NEWS



第4回 いなざわ梅まつり



発行所／稲沢市観光協会 発行人／鈴木 清 稲沢市朝府町15番12号(稲沢市産業会館内)

[TEL] 0587-22-1414 [FAX] 0587-22-1424 [HP] <http://www.inazawa-kankou.jp/> [E-mail] inakan@inazawa-kankou.jp

NO.14

2011.1



新年のあいさつ

➤ 新年あけましておめでとうございます。

平成23年の輝かしい新春を迎えられましたこと心からお喜び申し上げます。

稲沢市観光協会は早いもので6年目を迎えることができましたことは、会員を始め、関係者皆様方のご理解とご協力によるものと感謝申し上げます。

昨年は、稲沢市観光協会設立5周年を記念しまして、5月の総会には「織田信長と勝幡城」と題し、愛西市教育委員会学芸員の石田泰弘氏に記念講演をお願いしました。

さらに、記念事業として11月14日には、いなざわ美濃路まつりウォーキング大会を名鉄で開催しました。途中の長束梅公園では、「美濃路まつり」を開催し、稲沢市の特産品等を販売するとともに、稲沢市の観光PRをいたしました。

このほか、9月には「いなッピーバスに乗って観光地を巡ろう」と銘打って、稲沢市内の観光地を巡るバスを初めて走らせ、暑い中ではありましたが、参加者にはそ

れぞれの好きな観光地を散策し喜んでいただきました。さらには、稲沢市の特産品の銀杏等を使った、おしゃれな料理教室を実施したところ、申し込みは、その日のうちに定員を上回るほどでした。

このほか、総会においてご議決いただきました、各種事業につきまして、順調に実施してまいり、また、稲沢市のマスコットキャラクター「いなッピーグッズ」の販売をはじめ、稲沢市の観光PR、特産品の販売を行ってきました。

本年も「第5回いなざわ梅まつり」の開催をはじめ、観光資源の発掘、情報発信の充実を図るとともに、関係機関との連携強化に努め、稲沢市の観光に訪れていただけますよう稲沢市のキャッチコピー「いなッピーが夢先案内人」を旗印に事業に邁進いたしてまいります。

今後、協会の組織強化のため、引き続き会員の加入増強に努めてまいりますので、会員をはじめ市民各位のご指導、ご協力をいただきますようお願い申しあげまして年頭のごあいさつといたします。



稲沢市観光協会 会長
鈴木 清

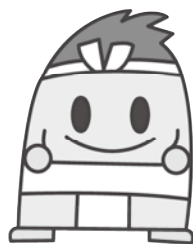


稲沢市のキャッチコピー



稲沢市観光協会 名誉会長
稲沢市長

大野 紀明



マスコットキャラクター
「いなッピー」

➤ 新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、平成23年の初春を健やかにお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また平素より、市政の各般にわたりまして、ご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、昨今の社会情勢は厳しく、景気はやや持ち直してはいるものの、雇用については、新規学卒者の就職等依然として厳しい状況が続いております。

こうした状況下ではありますが、観光の推進が元気な稲沢市を目指す一助になるものと期待するものであります。

稲沢市観光協会も昨年8月に設立5周年を迎え、記念事業として「いなざわ美濃路まつりウォーキング大会」が長束梅公園で名鉄ハイキングとタイアップして開催され、大変盛況でありました。さらに、バスを使って市内の観光地を巡る「いなッピーバスに乗って観光地を巡ろう」という新しい試みも実施されるなど、稲沢市の観光事業を積極的に推

進、展開されておられます。

稲沢市といたしましては、昨年10月に滋賀県彦根市で開催された「ゆるキャラ®まつり」のサブイベントとして「ゆるキャラ®グランプリ」が行われ、稲沢市のマスコットキャラクター「いなッピー」が、全国から170体のキャラクターがエントリーする中、第10位に入ることができました。これにより、稲沢市と「いなッピー」の知名度を上げることができたと思っております。投票にあたりまして、皆様にご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

本年も、安心・安全で元気のある稲沢を目指し、稲沢市観光協会との連携を図り、さらに充実した事業を展開するとともに観光まちづくりの推進に努めてまいりますので、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

監
事

翠 眞佐夫
大野 文敬

参
与

渡 邊 良幹
塩 崎 公也

友 松 隆利
塩 崎 公也

山 田 洋
服 部 正見

酒 井 章治
上 条 貴

土 田 正義
西 村 有揮

山 田 武
金 森 信之

川 瀬 道船
浅 野 博

国 立 英夫
近 藤 修

加 藤 睦郎
福 島 俊治

服 部 久博
山 本 浩史

成 田 幸太郎
鈴 木 一光

竹 内 正憲
林 和伸

田 中 省三
宮 本 知也

鈴 木 宏昌
齊 藤 茂

日 比 野 昭光
伊 藤 弘道

大 木 和也
山 田 信行

鈴 村 清
鈴 村 清

大 野 紀明
大 野 紀明

吉 川 昭
吉 川 昭

久 保 田 浩文
鈴 木 純

眞 浦 徹夫
吉 川 伸二

顧 問
眞 浦 徹夫

相 談 役
吉 川 昭

名 譽 会 長
大 野 紀明

会 長
鈴 村 清

副 会 長
大 木 和也

理 事
鈴 木 宏昌

理 事
日 比 野 昭光

理 事
大 木 和也

理 事
鈴 村 清

理 事
大 野 紀明

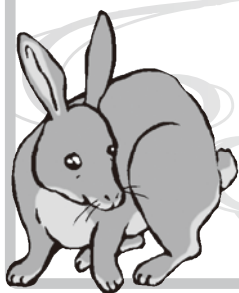
理 事
吉 川 昭

理 事
久 保 田 浩文

理 事
眞 浦 徹夫

謹 賀 新 年

稲沢市観光協会 役員名簿
(二月一日現在)





各種イベントに参加し観光PRと特産品の販売を行う。
いずれの会場においても大変好評でした。

稲沢サンドフェスタ2010

- 期 日／平成22年10月3日[日]～11日[月]
- 場 所／国営木曽三川公園(ワイルドネイチャープラザ)

昨年からメインのイベントを2日間とし、砂像の作成期間(9月18日～10月2日)も見てもらえるように会期の中に入りました。イベント開催期間中の来場者は約25,000人で、砂の造形展では、今年のテーマは「自然との共生」。一般I部では、タイトル「生命(いのち)をつなぐ輪」は生き物の輪が表現された作品で金賞の栄冠に輝きました。また、その他のイベントには、砂をイメージした大会(ビーチフラッグス、サンドドッジボール、ビーチバレーボール、親子対抗運動会)等のほか宝さがし大会、竹馬競争、フリーマーケット等たくさんの催し物が開催され、参加者は夢中になっていました。新しいイベントは「ゆるキャラ®サンドプラザ」で当市のいなっピーを始めピアッキ～、いちみん、ねぎっちょ、関*はもみん、いが☆グリオ、ひこちゅう、ハンバーグマのグーグーが出演し、チビッ子達と触れ合い記念写真を撮っていました。



観光協会では、観光コーナーを設置し、いなっピーグッズの販売、稲沢市観光ガイドマップや観光チラシ等で観光PRに努めました。

平成22年度稲沢まつり

- 期 日／平成22年10月16日[土]～17日[日]
- 場 所／国府宮神社参道、稲沢中学校、稲沢市民会館ほか

今年は、秋晴れの両日で126,000人の人出がありました。

各会場で行われたイベントなど活気に充ち溢れ、国府宮神社参道の両側には、地元の出店や側道には露店が立ち並びなが行き交う人で賑わいました。稲沢中学校グラウンドでは、ミニSL、ふわふわランドにちびっ子の行列ができ大人気でした。市民会館では、稲沢音楽祭、ミュージックフェスティバル、講演会、手遊び講座等多彩な催し物が行われました。

観光協会では、稲沢市のマスコットキャラクターグッズの販売と稲沢市の観光PRを観光ボランティアの協力を得て行いました。



ゆるキャラ® まつりin彦根

- 期 日／平成22年10月23日[土]～24日[日]
- 場 所／彦根中心市街地商店街一帯

～キぐるミさみっと2010～

全国から彦根市に着ぐるみキャラクターが170体集合するこの機会にいなっピーを通して全国に稲沢市をPRするため今年も参加しました。PRステージでは、それぞれのキャラクターのPRコーナーで「いなっピー」を大いにアピールしてきました。夢京橋キャスルロード等で「ゆるキャラ®ふれあい物産展」が開催され、ぎんなんカレー、ぎんなん入りかりんとう、いなっピーグッズの販売や観光パンフレットも配布し稲沢市のPRを行ってきました。着ぐるみの「いなっピー」も多くの来場者との写真撮影にも応じ人気を博しておりました。サブイベントでは、ゆるキャラ® グランプリが行われ携帯電話からの投票結果で「いなっピー」はベスト10(10位)に入りました。2日間の来場者数は、75,000人でした。



第40回稲沢市消費生活展

- 期 日／平成22年10月30日[土]～31日[日]
- 場 所／稲沢市勤労福祉会館

主役はあなた!～行って、知って、楽しもう～

をテーマに、市民の暮らしに役立つ情報や知識を提供するとともに、消費生活の改善・省資源・省エネルギーなどを自主的に実践する「自ら考え、自主的に行動する消費者」を育てる契機を与える場とするため、毎年各消費者団体の協力をいただき消費問題に関するパネル展示や体験コーナー、各種手作り教室(アクリルタワシ、豆わらじ等)、クイズラリー、絵本の読み聞かせ、雅楽の生演奏、振り込め詐欺寸劇などに今年も2,615人の市民が訪れました。また、屋外では特産品(銀杏、銀杏きしめん・うどん、金時矢生姜、しょうがジャム等)販売コーナーや飲食(銀杏きしめん、串カツ、みたらし、どて煮等)コーナーのほか野菜、花の販売コーナーなども大盛況でした。



いなざわ美濃路まつりウォーキング大会

- 期 日／平成22年11月14日〔日〕
- 場 所／長束梅公園

みんなでいこまいか～稲沢へ

美濃路は、稲沢市内を8.5km通っており、美濃路を再発見していただくため、昨年度は、美濃路ウォーキングマップを商工会議所の役員さんや街道沿いの商店の皆さん方のご協力により作成いたしました。

今年度は、観光協会設立5周年記念事業として、この美濃路をウォーキングすることにより、美濃路の歴史を感じさせる風情を楽しんでいただくため、美濃路まつりウォーキング大会を開催いたしました。

長束梅公園（長束町）では、美濃路まつりとして、ウォーキングされる皆さんに、観光ボランティアによる稲沢市の観光案内を始めおもてなしとして、トン汁の無料接待を行いました。

いなッピーも会場に現れ、遠く岐阜から楽しみにしてきた子供もあり、いなッピーのまわりには、絶えず子供たちがたわむれ、その人気のすごさに驚かされました。

名鉄と共催ということで、名鉄ハイキングの参加者3,200名を含め、直接美濃路まつり会場に直接来られた市民も多く、大変賑わいました。



第13回そぶえイチョウ黄葉まつり

- 期 日／平成22年11月20日〔土〕～28日〔日〕
- 場 所／祖父江町体育館会場、山崎会場（祐専寺及び周辺）

～日本一の黄金色 眺めてよし、翡翠色の銀杏 食べてよし!～

第13回そぶえイチョウ黄葉まつりが、11月20日（土）～28日（日）の9日間に亘り開催されました。今年は、まつり期間内が最高の見頃となり、東海三県や関西方面の市内外からも大勢の方々が訪れ黄葉を満喫されました。最終日の28日には、名鉄主催のハイキング「そぶえイチョウ黄葉（こうよう）まつりコース」に、4,000人が参加しました。27日には人力車に乗って「イチョウ散策ツアー」も開催され、大好評でした。

観光協会では、市内外からイチョウ黄葉を見に来ていただいた観光客の方々に稲沢市の観光ガイドマップや地元にある善光寺東海別院、七福神めぐり、荻須記念美術館などのチラシによる観光案内や、いなッピーグッズの販売を通して稲沢市のPRも行いました。

また今年は、テレビ局、ラジオ局等の報道関係から銀杏料理やイチョウ黄葉について、各種番組等に多く取りあげていただいた影響もあり、県内外から交通手段、イチョウ黄葉の見頃についての問い合わせなども頻繁にありました。



いなッピーと一緒に稲沢市のPR活動

いなッピーと一緒に市内外へ出かけ、いなッピーグッズや特産品の販売、観光パンフレットの配布などで稲沢市の観光PRをしました。

- | | | | | |
|--|--|---|---|--|
| ●全日本小学生ボウリング選手権大会
期日／平成22年8月4日（水）
場所／稲沢グランドボウル
参加者数／選手、役員監督等約400人 | ●名古屋城ゆるキャラ祭り
期日／平成22年10月2日（土）
場所／名古屋城 二之丸広場
参加キャラクター数／47体 | ●COP10地球のいのち・交流ステーション事業
期日／平成22年10月9日（土）・10日（土）
場所／愛・地球博記念広場
出展団体／23団体 | ●ぎなんフェスタ2010ゆるキャラ大集合
期日／平成22年11月7日（日）
場所／岐南町役場
参加キャラクター数／31体 | ●第5回愛知県市町村対抗駅伝競走大会「愛知ふるさと市」
期日／平成22年12月4日（土）
場所／愛・地球博記念公園
出展ブース／27ブース |
|--|--|---|---|--|



巡見街道

江戸幕府は鎌倉幕府や室町幕府にならって地方の政治や民情の視察をするために「巡見使」を派遣しました。尾張地方では、犬山から佐屋までの街道を「巡見街道」と呼びならわしました。

巡見使の行程は、一宮市から稲沢市横野、西島、片原一色、片原一色を過ぎると平和町に入ります。郷中を通るため法立で東に折れ、西光坊で西に折れ下りて東に折れるというように、458号線と何度も交差しながら南下しました。塩川から東進し、勝幡新田へは城西から南下し、領内川に架かる「巡見橋」を渡り佐織町に入りました。

幕府から翌年に巡見使を派遣することが伝えられると、各藩では最優先で準備を整えました。

一方では、幕府から巡見使に関する村々への通知は、「道筋の掃除や新たに橋をかける必要は無い。往来も自由で、普段どおりの生活をしておればよい。宿については、畳の張替えも必要は無い。道具類も古くても構わない。宿に充てる家が無ければ、寺、または離れた村にとまってもよい。物品はその相場場で売るように。」と、巡見使に対しての接待は気を使わないように通知していました。

このように、特別にする必要はないと注意を与えています。そのまま実行されていけば、それほど村々の苦労は無かったはずですが、

しかし、そうはいかなかったのです。こうしたことは、いつの世でも、同じことが繰り返されているのではないのでしょうか。



01 天下の奇祭『国府宮はだか祭』

●平成23年2月15日〔火〕 ●場所／尾張大國霊神社（国府宮神社）TEL0587-23-2121
 information ●交通／名鉄名古屋本線『国府宮』駅下車 徒歩5分・JR東海道本線『稲沢』駅下車 徒歩15分

「はだか祭」は、正しくは「難追神事（なおいしんじ）」と言います。今から1240年前、奈良時代の神護景雲元年（767年）称徳天皇の勅命により全国各地で悪疫退散の御祈禱がありました。このとき、尾張国司が尾張総社で厄払いをしたのが、難追神事となって現在まで伝えられています。

旧暦正月13日、はだか祭が行われる国府宮神社一帯は祭りの興奮に包まれます。

42歳と25歳の厄年の男を中心に、尾張一円からサラシのフンドシ、白足袋をつけた数千人のはだか男が、はだかになれない老若男女が願いをこめた布（なおいぎれ）を結びつけた青竹を、はだか男が身代わりとして担ぎ込み厄除けを祈願するものです。

また、国府宮神社参道では、神男（しんおとこ）に触れて厄を落とそうと数千人のはだか男がもみあいます。

なおいしんじ（はだかまつり）
難追神事（はだか祭）
 しめばしらたてしき
 標柱建式

旧暦正月2日午前9時に行われる標柱建式。「難追神事」と大書された標柱が神社正面に建てられ、祭りの開幕を告げます。
 今年は2月4日（金） 午前9時

なおいしん（しんおとこ）せんていしき
難負人（神男）選定式

続いて午前10時、志願者を難追殿に集めてその年の神男を選定。神男は3日3晩、難追殿にこもり祭りの本番にそなえます。
 今年は2月4日（金） 午前10時

なおいしんじ（はだかまつり）
難追神事（はだか祭）

旧暦正月13日、はだか祭が行われる国府宮一帯は祭りの興奮に包まれます。国府宮神社参道では神男（しんおとこ）に触れて厄を落とそうと数千人のはだか男がもみあいます。 今年は2月15日（火）

よなおいしんじ
夜難追神事

翌日の午前3時、災厄をつきこんだ土餅を背負った神男が境外へと追い出されます。神官はこの餅を地中に埋め、災厄を封じ込めます。
 今年は2月16日（水） 午前3時

おおかがみもちもちきり
大鏡餅餅切

旧暦正月14日午前8時からは大鏡餅を切って希望者に頒布。この餅を食べると無病息災の言い伝えがあり、多くの参拝者が集まります。
 今年は2月16日（水） 午前8時



稲沢市観光協会会員を募集しています

会費：法人会員 一口5,000円以上 / 個人会員 一口1,000円以上

平成18年8月7日に稲沢市観光協会が設立して早や6年目を迎えようとしています。会員の皆様方のご理解とご協力によりまして事業も着実に進んでいるところです。

今後さらに観光都市として、市外からのお客様のおもてなしをするためには、観光施設や特産品などハード面の整備はもとより、来訪者に対する情報の提供や市民一人ひとりの暖かな心遣いが大切です。

観光協会の組織基盤の強化を図るため更に多くの会員の募集をいたします。お知り合いなどで未加入の方がお見えになりましたら、是非、会員への勧誘をお願いいたします。

“みんなでいこまいかあ～”稲沢へ!!

02 第5回いなざわ梅まつり

●平成23年3月5日[土]・6日[日] ●AM9:30～PM4:00
information ●場所／愛知県植木センター

稲沢市は全国的に植木、苗木の日本4大生産地の一つとして知られており、植木、苗木の研究・研修機関として愛知県植木センターが開設されています。園内には多種多様な樹木が集められており、四季折々に花が咲いております。とりわけ、梅品種園は104種類、200本余の梅が栽培されており、全国的にも大変貴重な見本園であり開花時期には多数の見学者で賑わいます。

早春に美しい花を咲かせる梅の花を皆様に堪能していただくため、愛知県植木センターの協力を得まして第5回いなざわ梅まつりを開催します。

〈イベント〉

内 容	日 時
写真コンテスト	2月28日(月)～3月6日(日) 執務時間中
俳句大会	2月28日(月)～3月6日(日) 執務時間中
稲沢市特産品の販売	3月5日(土)～3月6日(日)
飲食コーナー	3月5日(土)～3月6日(日)
お抹茶コーナー	3月5日(土)～3月6日(日)
植木・苗木の販売	3月5日(土)～3月6日(日)
郵便局切手販売	3月5日(土)～3月6日(日)
樹木医により緑化相談	3月5日(土)～3月6日(日)
植木ウォッチング	3月5日(土)～3月6日(日)
子供向けコーナー	3月5日(土)～3月6日(日)
盆梅展(ひな人形)	3月2日(水)～3月6日(日)
第4回いなざわ梅まつり (写真・俳句大会)入選者作品展	2月22日(火)～3月6日(日)
愛知県立一宮高等技術専門学校 稲沢校舎 総合造園科開放	3月5日(土)～3月6日(日)
ロビーコンサート	3月5日(土)～3月6日(日)
名鉄ハイキング	3月6日(日)



03 へいわさくらまつり

●平成23年4月上旬
information ●場所／平和町体育館及びその周辺

《イベント》フリーマーケット、飲食コーナーなど

平和町には、総延長2,800メートルを桜並木で繋いでいる桜ネックレスがあります。

また、日光川左岸堤の桜づつみは、約30種類の里桜を3月から4月末まで楽しむことができます。



04 稲沢桜まつり

●平成23年4月3日[日]
information ●場所／国府宮神社参道

《イベント》茶会、写生大会、飲食コーナーなど

国府宮神社参道に咲く満開の桜の下で、茶会や演奏会、写生大会などの催しが開かれます。

夜には桜をライトアップし、美しい桜が浮かび上がります。



稲 沢 市 キ ャ ン ペ ー ン ・ レ デ ィ ー を 募 集

市の観光事業やイベントなどをより一層盛り上げるため、歴史と文化のまちにふさわしい、理知的で活動的な方を募集します。

募集人員：3人

- 応募資格：① 満18歳～満30歳までの女性
② 市、観光協会の事業に1年間参加できる方
③ 親権者、雇用主の承諾を得た方
④ 類似した職務の任期中でない方

主 業 務：観光協会及び市が開催するイベント、各種行事のPR活動

謝 礼：日当 9,200円(旅費、食事代は支給いたしません)

応募期限：平成23年1月31日(月)当日消印有効

応募用紙：稲沢市(本庁、支所、市民センター)及び観光協会にあります
面接審査：2月中旬予定

任 期：平成23年4月1日～平成24年3月31日

そ の 他：① 被服その他装飾品は貸与します

② 勤務中の災害は、加入保険の範囲で補償します

問 合 せ 先：稲沢市観光協会 ☎0587-22-1414